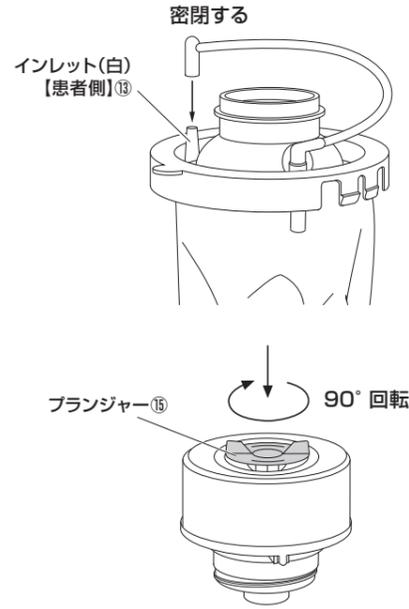


3 吸引が終わったら

- 吸引源を OFF にし、キャニスターに付属しているチューブを外します。バッグタイプ排出型 3.5L ファイナルのフローストッパー、及びインレット (白) 【患者側】⑬を付属のキャップで密閉します。バッグタイプ排出型 3.5L プレは、インレット (白) 【患者側】⑬を図のように密閉します。
- A. 排液を凝固する場合**
凝固剤ユニット 3.5L のブランジャー⑮を 90° 回転させて下まで押し込んでください。凝固剤が排液中に投入され、凝固が始まります。内部が凝固していることを必ず確認し、キャップがすべて閉じられていることを再度確認してから、バッグタイプをキャニスターから取り出し、医療廃棄物として処理してください。
(ほとんどの排液は約 1 時間で凝固します。)
- B. 排液を排出する場合**
バッグタイプをキャニスターから引き抜いて排液を排出してください。



注意

- 吸引後の操作はすべてゴム手袋、マスク、ゴーグル等の保護具を着用し、十分注意して作業を行ってください。

使用上の注意

- 本製品は専門の教育を受けた者のみが使用すること。
- 本製品を使用する前には、必ず表示事項及び取扱説明書を熟読し、その内容を熟知すること。
- 本製品を使用目的以外の用途には使用しないこと。
- 医療ガス配管設備 JIST 7101 に規定する吸引供給装置以外には接続しないこと [陽圧やその他の配管に接続すると患者、使用者及び装置に損傷を与える、又は性能が変化する可能性がある]。
- 使用する流量及び圧力に関しては、術法、対象部位、大きさ、患者の体格と年齢、使用者の経験及び技法を勘案して行うこと。
- レギュレータ及び貯溜容器並びに先端具等は、使用前に磨耗や亀裂がないか、又は著しい劣化がないか点検すること [排液の漏れ、又は飛散による周囲環境汚染の恐れがある]。
- 使用前にレギュレータ部及び廃液貯溜部並びに各ホースや先端具等の接続状態、更に医療ガス配管設備との接続状態の点検を行い、本製品が正常に作動することを確認すること。レギュレータ部及び廃液貯溜部並びに各ホースや先端具等を再セットアップした場合も同様に、正常に作動することを確認すること。
- 使用中に異常を感じた時は、使用を中止すること [排液の漏れ、又は飛散による周囲環境汚染の恐れがある]。
- アルコール等の有機溶媒を吸引しないこと [フローストッパーからの排液漏れや、凝固不良の原因になる]。
- 過貯溜防止装置 (フローストッパー) が作動するまで吸引しないこと。
- 過貯溜防止装置 (フローストッパー) が作動して吸引が停止した場合、そのまま放置せず速やかに医療配管設備の供給状態を停止し、貯溜容器を交換すること [ボトル又はバッグに高い圧力が負荷され破損の恐れがある]。
- 使用後はインレットエルボをインレットに確実に接続し、貯溜容器を密閉すること。
- レギュレータの操作において無理な力を掛けないこと。
- 吸引圧力の調整に際しては患者側に吸引圧がかからないように吸引チューブを閉塞し、開閉バルブを「OPEN」側にしてから、圧力調整ノブを回して吸引圧を調整すること。
※レギュレータ RG-200 の場合
吸引圧を調整する際、圧力調整ノブの回転ロックを外すこと。
- 使用中に圧力調整ノブに接触した場合は使用を一旦中止し、吸引圧を再設定の上、使用すること。
※レギュレータ RG-200 の場合
レギュレータの圧力調整ノブの誤回転防止のため、吸引圧力の調整時以外は圧力調整ノブに回転ロックをかけておくこと。
- レギュレータの異常、吸引力の低下、誤吸引においてレギュレータを汚損した場合又はレギュレータに落下などによる衝撃を与えた場合には直ちに使用を中止し、弊社担当者まで連絡すること。
- 使用後、持ち運び際には、バッグ、ボトル本体を持つこと [チューブ等を持って運ぶと接続部が外れ容器内の排液が飛散する恐れがある]。
- 使用後は院内の「廃棄物処理規定」に従って処理すること。
- 使用後に排液を排出する場合 (排出型のみ) は、ゴム手袋、マスク、ゴーグル等の保護具を必ず着用すること [排液が飛散する恐れがある]。
- 本製品を採血用吸引器として、絶対に使用しないこと。
- 一つの医療ガス配管設備では一つの吸引を行い、ふたまた等の同時使用は絶対に避けること。
- 吸引チューブは直接患者に適用せず、必ず先端に適切な先端具を接続して使用すること。
- レギュレータ及び貯溜容器を取り替える場合、必ず医療配管設備の供給状態を停止し、その後接続を切ること。
- 本製品を設置するときには、次の事項に注意すること。
イ. 水のかからない場所に設置すること。
ロ. 温度、湿度、風通し、日光、ほこり、塩分、イオウ分等を含んだ空気等により、悪影響の生じるおそれのない場所に設置すること。
ハ. 傾斜、振動、衝撃 (重搬時を含む) など安定状態に注意すること。
ニ. 化学薬品の保管場所やガスの発生する場所に設置しないこと。
- 本製品を使用する前に次の事項に注意すること。
イ. レギュレータ及び貯溜容器並びに各チューブや先端具等の接続状態、更に医療ガス配管設備との接続状態等の点検を行い、本製品が正常に作動することを確認すること。
ロ. チューブ類の取り外しに際しては、無理な力を掛けないこと。
ハ. 凝固剤及び過貯溜防止装置 (フローストッパー) の水漏れに注意すること。
- 本製品の使用後は次の事項に注意すること。
イ. 定められた手順により、開閉バルブ、圧力調整ノブ等を使用前の状態に戻した後、医療ガス配管設備の供給状態を停止し、その後接続を切ること。
ロ. チューブ類の取り外しに際しては、無理な力を掛けないこと。
ハ. 塩素系殺菌剤は注入しないこと [凝固を妨げる恐れがある]。
- 本製品が故障したときは、修理専門業者若しくは弊社に依頼すること [不完全な修理は正常な機能や安全の保障ができないため]。
- 消耗品は弊社純正品を使用すること [不完全な部品の交換は正常な機能や安全の保障ができないため]。
- 本製品の分解・改造は絶対にしないこと [正常に作動しなくなる恐れがある]。
- キャニスターやレギュレータはアルコール等の有機溶媒で清拭しないこと。
- 本製品は室温で使用すること。
- レギュレータの真空計には衝撃を加えないこと [ガラス面が破損する恐れがある]。
- ボトルタイプの排出型 (微量ボトル) はファイナルボトルとしての使用はしないこと。
- 貯溜バッグ、貯溜容器を取り出す際は、レギュレータの突出部等に引掛けて落とさないように注意すること。
- レギュレータの目盛は正面から読み取ること。
- 万一の吸引配管汚染防止のため、配管保護装置 (フローストッパー) を装着すること。吸引が弱くなったら、配管保護装置を交換すること。
- レギュレータを専用架台に取り付ける際は、スパナ 2 本を使用して固定すること。
- 貯溜バッグ及び貯溜ボットの EOG 滅菌やオートクレーブ及びウォッシュステライザーによる熱湯消毒等は避けること。
- キャニスター又はチューブ類を滅菌する場合は、EOG 滅菌 (温度 50℃ 以下、湿度 75% RH 以下) 以外は行わないこと。
- 貯溜バッグは弱い材質でできているので、開封時の刃物による破損に注意すること。
- 貯溜容器に横から衝撃を与えないこと。

一般医療機器 特定保守管理医療機器 / 一般的名称: 真空吸引器 / 医療機器届出番号: 27B1X00013000001 / 販売名: フィットフィックス

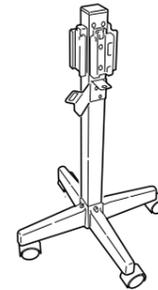
フィットフィックス® FFキャスターセット3.5L用H 取扱説明書

この度は、FFキャスターセット3.5L用Hをお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。
本製品をご使用するには、必ずこの取扱説明書をお読み頂き、
お取り扱いくださいますようお願い致します。

規格

品番	品名	構成品
DKI-FF708H	FFキャスターセット3.5L用H	キャスター単体 (H) + キャニスター-3.5Lx2

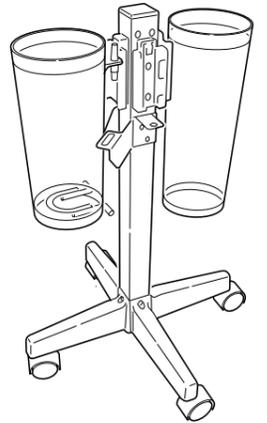
セット内容



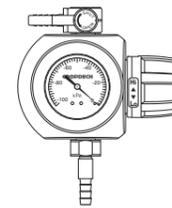
キャスター



キャニスター
医療機器届出番号: 27B1X00013000001



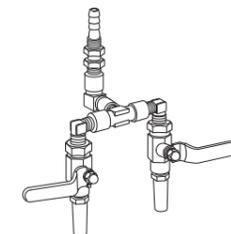
オプション (別売品)



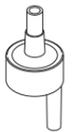
レギュレータ
医療機器届出番号: 27B1X00013000001



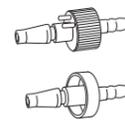
レギュレータ架台



三方活栓



配管保護装置
(フローストッパー)
医療機器届出番号:
27B1X00013000001



川重・セントラルユニ式 (ピン式)



アムコ式 (シュレーダ式)

配管アダプター



ボール弁付ニップル



耐圧チューブ

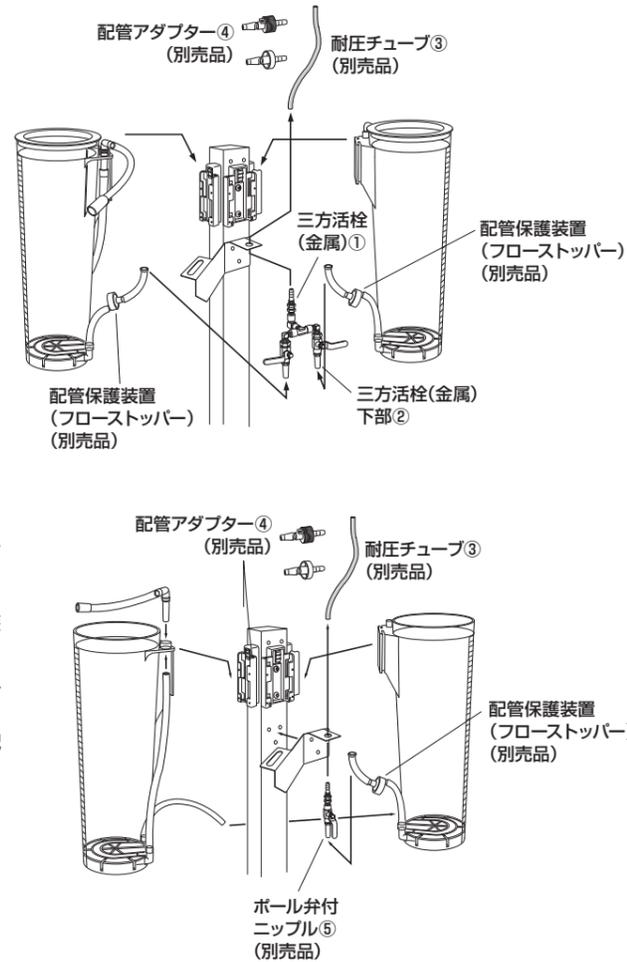
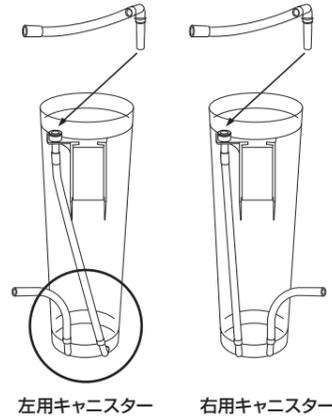


シリコンチューブ

1 組立手順

〈単独2方向吸引の接続例〉

1. キャニスター2本のうち1本のチューブを差し替えて「左用キャニスター」を作ってください。
右用キャニスター：変更なし
左用キャニスター：円内チューブ差し替え
2. [F] (ファイナル) シールを両方のキャニスター内底面に貼付してください。
3. (1) 三方活栓 (金属) ① (別売品) を固定します。
三方活栓 (金属) ①の左右へキャニスターをセットします。
三方活栓 (金属) ①の右に右用、左に左用をセットします。
(2) キャニスター下部のチューブを三方活栓 (金属) 下部②に差し込みます。
万一の吸引配管汚染防止のため、配管保護装置 (フローストップバー) を装着してください。
4. 三方活栓 (金属) ①の中央上部へ耐圧チューブ③ (別売品) と配管アダプター④ (別売品) を接続してください。

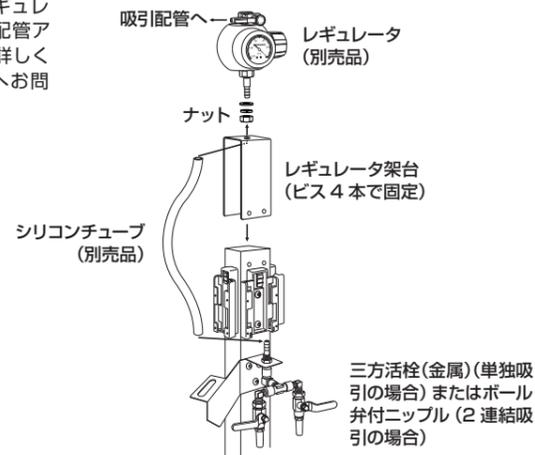


〈2連結吸引の接続例〉

1. バッグタイプ排出型 3.5L を 2 本連結して吸引する場合、キャニスターを図のように接続し、三方活栓のかわりに、ボール弁付ニップル⑤ (別売品) を使用してください。
万一の吸引配管汚染防止のため、配管保護装置 (フローストップバー) を装着してください。
2. 右図の左側キャニスター内底面に [F] (ファイナル) シールを、右側キャニスター内底面に [P] (プレ) シールをそれぞれ貼付してください。
3. ボール弁付ニップル⑤ (別売品) の上部へ、耐圧チューブ③ (別売品) と配管アダプター④ (別売品) を接続してください。

〈レギュレータ (別売品) を使用する場合〉

FF キャスター 架台セット (別売品) [品番 DK1-FF794K・A] (レギュレータ架台+シリコンチューブ+配管アダプター) が必要になります。詳しくは最寄りの弊社支店・営業所へお問い合わせください。



⚠ 組立時の注意事項



レギュレータ架台にレギュレータを取り付ける際は、図のようにスパナを2本使用して固定してください。

2 使用方法

〈バッグタイプについて〉

単独 2 方向吸引の接続で使用する場合はバッグタイプ排出型 3.5L ファイナル (DK1-FF2863F) が、2 連結吸引の接続で使用する場合はバッグタイプ排出型 3.5L ファイナル (DK1-FF2863F) とバッグタイプ排出型 3.5L プレ (DK1-FF2863P) が、凝固して廃棄するには凝固剤ユニット 3.5L (DK1-FF8453) がそれぞれ必要です。

⚠ 注意

- [F]・[P] のシールはバッグタイプ排出型 3.5L のファイナルとプレを装着する際の目印にするためのものですから必ずキャニスター内底面に貼付し、チューブの接続を正しく行ってください。

〈吸引準備について〉

単独2方向吸引の場合

1. バッグタイプのバッグを伸ばし、形を整えてからキャニスター⑥に奥まで強く差し込んでください。その際バッグタイプを取り出す為の突起⑦が外側 (手前) を向くようにセットしてください。
2. フローストップバー ⑧に付属しているキャップ⑨を取り外し、代わりにキャニスター⑥に付属しているチューブ⑩をフローストップバー⑧に接続してください。

2連結吸引の場合

1. 連結吸引する際、[P] の印のあるキャニスターにバッグタイプ排出型 3.5L プレを、[F] の印のキャニスターにバッグタイプ排出型 3.5L ファイナルを挿入してください。バッグタイプ間の接続方法は右下図をご参照ください。

凝固剤ユニット 3.5L を使用する場合

1. 凝固剤ユニット 3.5L ⑫を使用する際は、センターキャップ⑩を外して凝固剤ユニット 3.5L ⑫を完全に止まるまでねじ込んでください。

⚠ 注意

- キャニスター内の底面の [F]・[P] のシールを確認し、[F] にはバッグタイプ排出型 3.5L ファイナルを、[P] にはバッグタイプ排出型 3.5L プレをそれぞれ正しく装着してください。[F]・[P] を間違えると、吸引配管、レギュレータの汚損、詰まり、故障等の原因になります。
- 凝固剤ユニット 3.5L ⑫は吸引終了後に装着することも可能ですが、排泄に直接触れる恐れがありますので、できるだけ吸引前に装着することをお勧めします。
- バッグタイプをキャニスターに装着するときは、バッグをしっかり伸ばしてからキャニスターに装着してください。

〈吸引について〉

1. インレット (白) 【患者側】⑬に付属しているキャップを外し、患者側の吸引チューブ⑭を接続してください。
2. 吸引源となるチューブ③とキャスターを接続し、吸引を開始してください。
3. 単独 2 方向吸引の場合、キャスターに付属している三方活栓 (金属) ①を使用する側のみ開いてください。常に片側のみを使用し、2 本同時に使用しないでください。吸引圧が下がる原因となります。

⚠ 注意

- 吸引量が一杯になるとフローストップバーが働き、自動的に吸引がストップしますが、ファイナルのキャニスターの一番上の目盛まで吸引しないよう注意してください。万一流フローストップバーまで吸引した場合、排泄が逆流する恐れがありますので、患者側の吸引チューブをクランプしてから、次の操作を行ってください。
- アルコール等の有機溶媒を吸引しないでください。フローストップバーからの排泄漏れや、凝固不良の原因になります。

